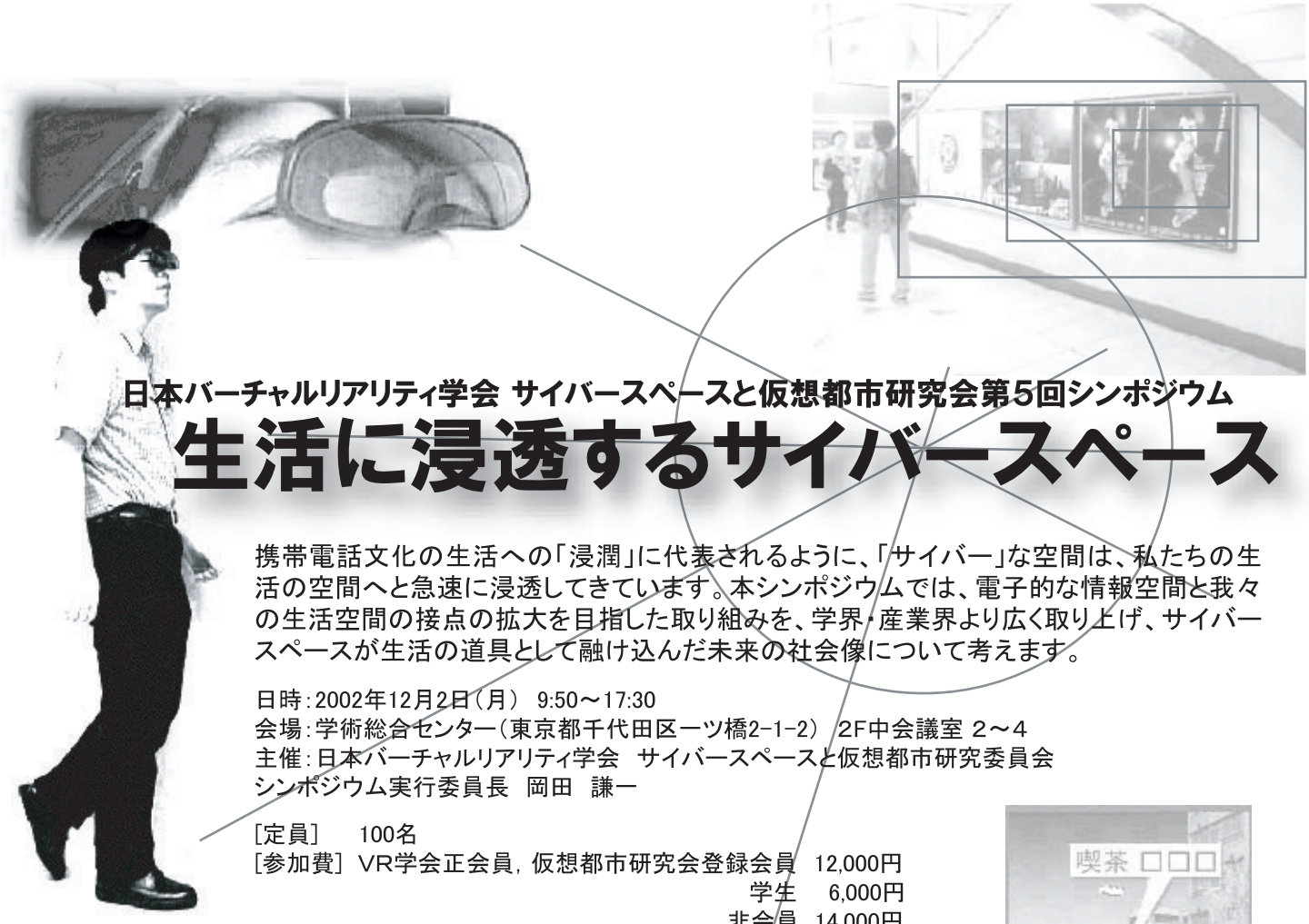

日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市研究会第5回シンポジウム

生活に浸透するサイバースペース

携帯電話文化の生活への「浸潤」に代表されるように、「サイバー」な空間は、私たちの生活の空間へと急速に浸透してきています。本シンポジウムでは、電子的な情報空間と我々の生活空間の接点の拡大を目指した取り組みを、学界・産業界より広く取り上げ、サイバースペースが生活の道具として融け込んだ未来の社会像について考えます。

日時：2002年12月2日（月） 9:50～17:30
会場：学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋2-1-2） 2F中会議室 2～4
主催：日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市研究委員会
シンポジウム実行委員長 岡田 謙一

［定員］ 100名
［参加費］ VR学会正会員，仮想都市研究会登録会員 12,000円
学生 6,000円
非会員 14,000円
※ VR学会賛助会員企業は5名までが会員扱いとなります

◆アドバンス・プログラム

テーマ: 生活に浸透するサイバースペース

9:50～10:00 開会の辞

第一部

10:00～11:00 顔理解技術とエンタテイメント・コミュニケーションへの応用 川出雅人（オムロン）
11:00～11:30 三次元都市空間基盤「地球ナビゲータ」の構成技術と応用 古川久雄，宮崎陽司，神谷俊之，國枝和雄(NEC)
11:30～12:00 三次元地図に基づく歩行者ナビゲーションMobile 3D Mapの提案と評価 前原秀明（三菱電機，宇都宮大），田中 聡，臼井澄夫（三菱電機），鎌田一雄（宇都宮大）

第二部

13:15～13:55 GPS携帯であそんじゃおう！ 大森智広（トミー）
13:55～14:35 携帯端末上での3次元グラフィックスの実現とその可能性 堤 純也（エイチアイ）
14:35～15:15 ケータイが創り出すサイバーマインド：技術と文化の交錯と展開 山上俊彦（ACCESS）

第三部

15:30～16:30 生活に浸透するロボット情報空間（ロボティックルーム） 佐藤知正（東大）
16:30～17:00 i-wall：街角情報環境に向けたインタフェースデザイン 牛田啓太（東大），田中 悠（NTT データ），杉田 馨，苗村 健，原島 博（東大），島田義弘（NTT）
17:00～17:30 実世界を志向した遠隔コミュニケーション空間の開発 葛岡英明（筑波大），山下 淳（東大），小山慎哉（CRL）

※プログラムは変更される可能性があります

参加申し込み方法、講演題目等の詳細は http://welcome.to/sigcs をご覧下さい

［問い合わせ先］ 小林 稔（NTTサイバースペース研究所） Tel：0468-59-2986, FAX：0468-55-1735 E-mail：minoru@acm.org